

SCAT表彰「会長賞」受賞

2022年1月14日（金）に、クロステック開発部の寺田 雅之が、「プライバシー保護方式の研究開発および本方式を適用したモバイル空間統計の活用」の功績により、SCAT表彰「会長賞」を受賞しました。

「SCAT表彰」は、（一財）テレコム先端技術研究支援センター（SCAT：Support Center for Advanced Telecommunications Technology Research）が主催し、情報通信技術の研究開発により国民生活の安全安心に寄与するなど多大な貢献のあった研究者を表彰する賞です。

寺田は、携帯電話ネットワークの運用データを用いた統計情報として実用化された「モバイル空間統

計」の推計方式の確立やプライバシー保護の取組みを主導し、さらに、本統計の高精度化・リアルタイム性の実現のため、新たに大規模データの高速度計算技術、時系列データ解析技術、プライバシー保護技術を確立し、日本全国の人口分布の推移を500mメッシュ単位で、属性別に10分ごとに推計する「リアルタイム人口統計」を開発、実用化したことが評価され、今回の受賞に至りました。

本技術は各産業分野へ応用され、例えばAI渋滞予測により、渋滞予測精度は飛躍的に向上し、高速道路での実証において、その利用者の約3分の2が渋滞回避行動をとるなど、交通分散・渋滞緩和や、渋滞に伴う交通事故の回避や抑止などを実現する高い効果が認められました。昨今の新型コロナウイルス感染拡大においても、国や地方自治体による感染拡大対策の立案や、個人が混雑を避けて感染から身を守るための情報として活用されました。また、災害に対しても被災エリアの影響ユーザ数算出方法を確立し、効果的な復旧・支援に向けた被害状況の的確な把握を実現するなど、さまざまな安全安心に貢献しました。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

